

平成二十九年 第一期入学者選考試験 問題 (国語)

一、次の——線部の漢字の読みがなを書きなさい。

- ① 車で送迎する。 ② 縦笛の練習をする。 ③ ゲームに夢中になる。 ④ 最新の機械を用いる。 ⑤ 人通りが絶える。

二、次の——線部のカタカナを漢字に書き直しなさい。必要があれば、送りがなもつけなさい。

- ① 作品をテンジする。 ② イガイな結果に終わった。 ③ ユウビン切手を集める。
④ コマカイ作業をする。 ⑤ 夜道の一人歩きはアブナイ。

三、次の各組の漢字に共通する部首名を答えなさい。

- ① 建・延 ② 原・厚

四、次の漢字の総画数を漢数字で答えなさい。

費

五、次の「最多」と同じ組み立てのものをア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- 「最多」 ア 清流 イ 選挙 ウ 勝敗 エ 消毒 オ 救助

六、次の漢字の矢印のついている画は、何画目に書くか、漢数字で答えなさい。

↓
布

七、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

池上嘉彦 「ふしぎなことは ことばのふしぎ」より出題。

本文は、著作権の関係により、掲載いたしません。

問一 に入る適当なことを、考えて答えなさい。

問二 A C に入ることをとして適当なものを、次のア～オからそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

ア しかし イ 一方 ウ つまり エ たとえば オ また

問三 — 線部①「不公平でおかしい」とありますが、どのような点が不公平でおかしいのですか。その理由を説明した次の文の（ア）、（イ）に入る適切な言葉を本文中からぬき出して答えなさい。

身体から取りさる言い方はぜんぶ「ぬぐ」なのに、身体に身につける言い方は（ア）わかれている。
このように、あるひとつのことばに対して、（イ）のことばがひとつだけではない点。

問四 — 線部②『高い』の反対を、ふたつ以上思いつきますか。」とありますが、「高い」の反対の意味をもつ言葉を使って、短文を作りな
よ。

問五 — 線部③「きつとお天気よ。」について、次の問いに答えなさい。

(1) 本来「天気」とは、どのような意味ですか。簡単に説明しなさい。

(2) 筆者は「きつとお天気よ。」という言い方はよく考えたとおかしいと述べています。その理由を説明した次の文の(ア)～
(エ)に入る適切な言葉を本文中からぬき出して答えなさい。

「天気」には、(ア)や(イ)、雨、雪、というように、いろいろな天気があり、
(ウ)も(エ)も含めて、すべて「お天気」であるから。

問六 — 線部④「熱があるかどうか、計ってごらんさい。」とありますが、この言い方のおかしな点を筆者はどのように説明していますか。
説明が書いてある連続した二文の初めの五字を答えなさい。

問七 — 線部⑤「熱」と、線部⑥「熱」は、それぞれどのような意味がこめられていますか。最も適当なものを、次のア～エからそれ
ぞれ選び、記号で答えなさい。

ア ただ体温があるということ。

イ 体温がほかの人より高いということ。

ウ ふつうより高い熱があるということ。

エ ふつうの人よりも体温が低いということ。

問八 — 線部⑦「気になります」の主語を、ぬき出しなさい。

問九 この文章で述べられている内容と合うものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア ひとつの言葉に対して、反対の意味の言葉が必ずひとつある。

イ 良い意味の言葉に対しては反対の意味の言葉がたくさんある。

ウ ふだん使っている何気ない言い方にも、よく考えるところとおかしな言い方がある。

エ ことばは良い意味の言葉がたくさん使われるようになってきている。

八、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

川端裕人「今ここにいるぼくらは」より出題。

本文は、著作権の関係により、掲載いたしません。

問一 — 線部①「サルが心配そうに手を差し伸べてくれたけれど、博士はそれも無視して自分で歩いた」とありますが、その理由を次のようにまとめました。(ア)～(エ)には、本文中及び本文の前の□の文の中から、ことばをぬき出して答えなさい。また、(エ)には適当な言葉を五字以内で答えなさい。

(ア) という約束をして博士は (イ) に連れてきてもらったので、(ウ) という言葉を繰り返して自分をばげまし、「サル」が心配して手を差し伸べてくれても、わざと無視して自分の (エ) を見せようとしたから。

問二 — 線部② 「ムルチがぎろりとサルを見た」とありますが、それはなぜですか。理由として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「博士」に対する「サル」の気づかいが気にいらなかったから。

イ 「サル」のつかれた様子も見せない元気な様子にいらだったから。

ウ 「サル」にリーダーをうばわれてしまうのでないかと思ったから。

エ 「サル」に歩きづらい道を選んだことを責められたと思ったから。

問三 — 線部③ 「言葉をのみ込んだ」の本文中の意味を答えなさい。

問四 — 線部④ 「さみしいようにも感じた」とありますが、それはなぜですか。三十字以内で答えなさい。

問五 — Aに入る語として適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 安心 イ 決心 ウ 放心 エ 用心

問六 — 線部⑤ 「見てはいけないものを見てしまった」とありますが、どんなことですか。二十字以内で説明しなさい。

問七 — Bに入る語を漢字一字で答えなさい。

問八 — 線部⑥「泣かへんもん、と思つた時にはもう涙がこぼれていた」とありますが、「博士」が泣き出してしまった理由として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 先を急ぐ「ムルチ」が足手まといになつてゐる「博士」に対して怒つてゐることを感じてこわくなつたから。

イ 下の世界では夕飯の時間になり、家族だんらんの時をむかへてゐることを想像し、さみしくなつたから。

ウ 長時間にわたつて歩きづらい山道を通り、疲れてしまい、お腹がすいてしまったから。

エ どこまで行つても川のはじまりは見つけられず、あきらめなければならぬと思つたから。